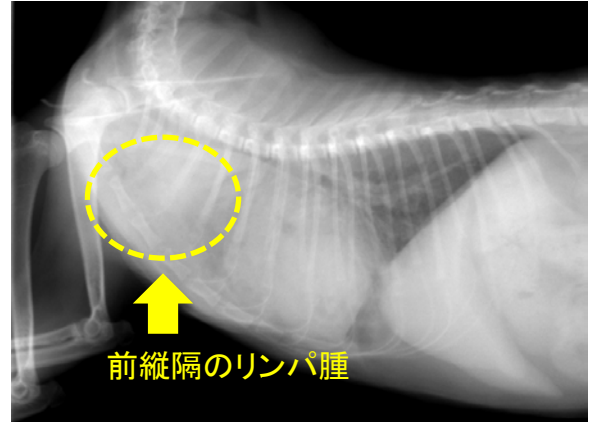


## どんな病気なの？

- 1-6歳の屋外飼育のネコでうつりやすい病気です。
- 毛づくろいや共同の飲食で唾液や鼻水が接触することで感染すると考えられています。また母子の感染（垂直感染）もあります。
- 感染したネコの多くはウイルスによる免疫不全、リンパ腫、白血病、骨髄異形成症候群、赤芽球癆（せきがきゅうろう）などの病気を起こし4年以内に死亡します。

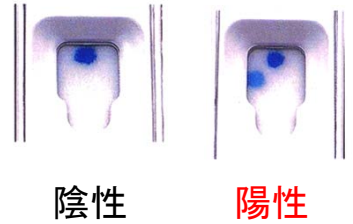


猫白血病ウイルス陽性のネコの胸部X線。  
前縦隔という部分にリンパ腫が見つかりました。

## どうやって診断するの？

- 血液から感染の有無を判定するキットが発売されています（FeLV抗原検査）。
- ※感染初期（4-6週）は検出されないことがあります。
- ※陽性（+）と出ても、約1カ月後には陰性となる場合もあります（感染後4カ月までは陰性になる可能性がある）。
- 上記の場合、間隔を空けての再検査が必要です。
- 持続感染となった場合、予後は不良なので注意が必要です。

### FeLV抗原検査



感染の時期	生まれたて	生後1カ月過ぎ	1歳以上
持続感染の割合	ほぼ90-100%	約50%	10%程度

## どうやって治療するの？

- ①予防: 感染は混合ワクチンで防ぐことができます（有効率は80-90%程度と言われています）。
- ②治療: 感染してしまった場合、インターフェロン療法で陰性に転ずることがあります。

ネコインターフェロン $\omega$ （＝インターキャット）を5日間連続で注射し、以後2週後、2月後に同様の注射を繰り返します。

参考:

- ・イヌ+ネコ家庭動物の医学大百科
- ・SA Medicine 76「感染症」



ダイゴペットクリニック  
愛知県豊田市上野町5-1-1  
Tel:0565-88-1385  
Fax:0565-88-1386